

はじめに

今日、日本社会の様々な領域において構造的な変化が進行しています。特に産業や経済の分野においてはその変容の度合いは著しく大きく、雇用形態の多様化・流動化にも直結しています。学校から社会・職業への移行プロセスに問題を抱える若者が増え、各学校における、勤労観・職業観の育成は大きな課題となっています。

このような中で、児童生徒一人一人が「生きる力」を身に付け、明確な目的意識を持って日々の学校生活に取り組みながら、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、望ましい勤労観・職業観を形成するとともに、変化の激しい社会の中で将来直面するであろう様々な課題に対応しつつ社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められています。

千葉県では、第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちばプラン』」の主な取組として「学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進」を掲げ、発達の段階に応じたキャリア教育の推進に取り組んでいるところです。

このことを踏まえ、本委員会では、平成23年度・24年度に作成した「キャリア教育の手引き」を、「小・中・高等学校を通した系統的なキャリア教育」という視点で改訂しました。

本手引きには、各学校種におけるキャリア教育全体計画様式例・各学年の年間指導計画例のほか、『キャリア・パスポート』の有効な活用・「各教科の学びとの関わりを意識したキャリア教育」・「幅広い地域住民等（専門人材・保護者・企業等）との連携・協働」の3つのテーマにおける具体的な実践事例等を掲載しました。

今後、各学校、各市町村教育委員会等において、「小・中・高等学校を通した系統的なキャリア教育」の視点に基づいた実践的な取組が効果的に進められるよう、本資料が活用されることを期待します。

末筆ではございますが、本資料の作成・改訂に当たり御尽力を賜りました改訂編集委員及び関係の皆様は厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

千葉県教育庁教育振興部学習指導課長

石川 康浩